

報道関係者各位

2024 年 7 月 8 日

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

アイ・グリッド・ソリューションズ
株式会社三菱 UFJ 銀行から 30 億円の資金調達を実施
～累計約 260 億円の資金調達に～

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：秋田 智一、以下「アイ・グリッド」）は、PPA 発電所の設備開発のための資金として、株式会社三菱 UFJ 銀行（以下、三菱UFJ 銀行）からのローン契約により、2024 年 6 月に 30 億円の資金調達を実施いたしました。三菱 UFJ 銀行から弊社に対する PPA 発電所の設備開発向けの融資としては今回が初めての取組みであり、分散型太陽光発電所の追加開発をさらに加速させることを目的としています。なお、今回の資金調達により、PPA 発電所の設備開発向けのデット性の調達額は累計約 260 億円となりました。脱炭素社会実現に向けて、分散型太陽光発電所をこれまで以上に全国に広げ、グリーントランスフォーメーション（GX）を推進してまいります。

■ 契約の概要

借入人	株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
資金使途	PPA 発電所の設備資金
契約締結日	2024 年 6 月 26 日
契約期間	5 年
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行

■ 資金調達の背景

アイ・グリッドでは、施設の屋根上を活用した太陽光 PPA を推進することで、自然を傷つけない再エネ創出に努めています。小売店や商業施設、物流施設等の屋根上を中心とした PPA モデルによる太陽光発電設備で全国約 950 施設／約 220MW の開発実績があります（2024 年 6 月現在。アイ・グリッドが開発しアライアンス先が保有する太陽光発電設備を含みます。）。2027 年 6 月までに約 2,500 施設、累計約 600MW の非 FIT 太陽光発電所建設を目指します。

従来の PPA モデルでは、自家消費可能な電力のみを創出する範囲内で太陽光パネルを設置することが主流でしたが、それでは屋根面積に対して設置する太陽光パネル規模が小さくなり、屋根の太陽光発電ポテンシャルを活用しきれずに再エネ普及が進まないという課題がありました。

そこで、当社独自の AI 技術を用いて、施設ごとの発電量と需要量を高い精度で予測し、対象施設以外も含めた最適な需給調整や電力融通を行なう「余剰電力循環スキーム」を構築しました。これにより施設屋根全面へのパネル設置が可能となりました。創出した余剰電力は、アイ・グリッドのエナジートレーディング事業によって別の電力利用者への供給や、昼に生じる余剰電力を蓄電池へ貯めて、夜に使用する等の活用をしています。

全国に拡充している分散型の太陽光発電施設での再エネを最大限に活用し、再エネ自給率を高め、地域の脱炭素化促進につなげてまいります。

<株式会社アイ・グリッド・ソリューションズについて>

アイ・グリッドは、分散電源から生まれる再エネをフィジカル×デジタルの融合で集約・循環させ、日本各地の GX を推進するプラットフォーマーです。企業や自治体の再エネ自給率を最大化する GX ソリューション事業、余剰再エネを循環・供給するエナジートレーディング事業を営み、PPA サービスでは国内 No.1 (※) の導入実績があります。

「変化より、はやく」をスローガンに、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現を目指していきます。

(※) 富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場／参入企業実態調査 2024 第三者所有モデル (PPA、リース)・非住宅 (10kW 以上)・2023 年度見込。VPP Japan はアイ・グリッド・ソリューションズに吸収合併 (2024 年 6 月 29 日付)

(会社概要)

社名：株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ

本社所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町三丁目 7 番地 4

代表者：代表取締役社長 秋田 智一

資本金：6,530 百万円 (2024 年 6 月末時点) ※資本剰余金含む

従業員：120 名

設立：2004 年 2 月

受賞歴：環境省 第 9 回グッドライフアワード環境大臣賞 最優秀賞など

公式 WEB サイト：<https://www.igrid.co.jp/>

オウンド メディア「グリラボ」：<https://gurilabo.igrid.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

担当：渡辺・河村 TEL：080-2458-2958 (渡辺) mail：pr@igrid.co.jp